

古文化

受け継がれる、日本屋根の伝統美。

第134号



おわりおおくにたまじんじゃ
尾張大國霊神社 楼門
[愛知県稲沢市]



公益社団法人 全国社寺等屋根工事技術保存会

尾張総社 国府宮
おわりおおくにたまじんじや
尾張大國霊神社

〔愛知県稲沢市国府宮〕

由緒・御祭神(ごさいじん)・社殿

太古の時代、伊勢湾の干潟に移住した人々が、生きる糧を産みだす土地の偉大な霊力を神と敬い、尾張大國霊神と名付け日常生活の守護と感謝の拠り所としてこの神社を創建したといわれています。御祭神は尾張地方の総鎮守神であり、農商業守護神、厄除神として広く信仰されています。奈良時代には、国衙(国府)に隣接して御鎮座していたことから尾張国の総社と定められ、国司自らが祭祀を執り行う神社でした。このことから、通称「国府宮」として広く知られています。

3万平方mに近い広い境内に、本殿、渡殿、祭文殿、東西の廻廊、拝殿、楼門(表紙写真)などがあり、尾張式といわれる独特の建築様式によって建てられています。特に、楼門は入母屋造、檜皮葺で室町時代初期に建てられました。江戸時代となり正保3年(1646)に上層部を解体大改修したため、両時代の建築様式となっていますが、それが実に見事に調和していることでも有名です。

拝殿は、江戸時代初期に建てられたもので、切妻造、檜皮葺で内に柱が並立する珍しい建築様式が



本殿正面



拝殿(国指定重要文化財)

とられています。楼門、拝殿とも、昭和30年(1955)に国の重要文化財に指定されています。境内はうっそうと茂る木々に囲まれ、神域の荘厳さを保っています。

伝統の「馬まつり」

正式には梅酒盛神事と呼ばれ、毎年5月6日に行われます。10歳位の男の子に直衣を着せ、えびらを背負わせ、太刀を腰にして神代として、神職とともに庁舎に入ります。尾張大國霊神、大御霊神、宗形神を招神して青梅の実などを供え、五穀豊穡を祈ったあと、神代と神職は馬に乗り、巫子や弓矢太刀等の神宝持ちの大行列が、神社から楼門間を御神幸します。この時、氏子中から献納された飾馬が願いを乗せて参道を駆け抜けます。この神事は、寛永3年(1626)に日照りが続き、農民が雨乞いに馬をひいたことに由来しているといわれています。



10歳前後の男児が神代として馬に乗る「馬まつり(梅酒盛神事)」

国府宮の「はだか祭」

正式には儼追神事と呼ばれ、尾張の奇祭として有名です。神護景雲元年(767)に称徳天皇の勅命によって悪疫退散の祈祷が全国の国分寺で行われた際、尾張国司が総社である当神社に於いても祈祷されたのに始まると伝えられています。祈祷と神籤によって選ばれた一人の儼負人(神男)の身体に触れて厄を祓おうと、数千の裸群が揉みあう勇壮な神事です。また、夜儼追神事では、裸群の罪や穢れを一身に受けた神男が、それらを託した土餅を背負わされて神職に追い立てられます。境内外へ追放された神男が途中で土餅を投げ出すと、神職の手によりその場に埋められ神事は終わります。土から生じた罪穢悪鬼を土へ還し国土平穏に帰したと信じるのです。

「はだか祭」は毎年旧暦の正月13日に行われ、数十万の見物客で賑わいます。



神男をめがけ裸男が激しく揉みあう「はだか祭(儼追神事)」

令和7年度 第16回 定時会員総会の開催 事業報告など

令和7年度の定時会員総会を5月14日(水)に京都市文化財建造物保存技術研修センターにて行いました。46期事業報告、収支決算などについて慎重に審議され、原案通り議決、承認されました。

令和6年度 事業報告

①文化財屋根葺士養成研修事業 (国庫補助事業)

第25期生 後期研修

人数●3名

期 間●令和6年5月20日(月)～9月20日(金)

研修区分●講義72時間

実習552時間

講義場所●京都研修センター(京都市東山区)等

実習場所●滋賀方面 等

人数●3名(執行理事、担当理事、事務局)

期 日●令和6年6月5日(水)

②場 所●南木曽森林管理署

人数●3名(執行理事、担当理事、事務局)

期 日●令和6年6月6日(木)

③場 所●山口森林管理事務所

人数●3名(執行理事、担当理事、事務局)

期 日●令和6年6月11日(火)

④場 所●広島森林管理署

人数●3名(執行理事、担当理事、事務局)

期 日●令和6年6月12日(水)

⑤場 所●岡山個人林(岡山)

人数●1名(担当理事)

期 日●令和6年6月13日(木)

⑥場 所●和歌山森林管理署

人数●3名(執行理事、担当理事、事務局)

期 日●令和6年6月18日(火)

⑦場 所●京都大阪森林管理事務所

人数●2名(担当理事、事務局)

期 日●令和6年6月20日(木)

⑧場 所●明通寺(福井)

人数●3名(執行理事、担当理事、事務局)

期 日●令和6年6月21日(金)

⑨場 所●河内長野市役所(大阪)

人数●3名(執行理事、担当理事、事務局)

期 日●令和6年7月4日(木)

⑩場 所●秩父市役所(埼玉)

人数●2名(担当理事、指導員)

期 日●令和6年10月29日(火)

②檜皮採取者(原皮師)養成研修事業 (国庫補助事業)

1) 中級研修生(原皮師)研修

人数●13名

期 間●令和6年8月19日(月)

～令和7年2月7日(金)

研修区分●実習1288時間

歩道整備40時間

講義場所●京都研修センター(京都市東山区)

実習場所●国有林／[中部森林管理局管内]

賤母(長野)

[近畿中国森林管理局管内]

仏通寺山(広島)、権現山(和歌

山)、城山(山口)、鞍馬山(京都)

市有林／[秩父市] 旧大滝村栃本(埼玉)

[河内長野市] 滝畑千石谷(大阪)

民有林／明通寺(福井)

2) 採取全体会議

参加者●13名

期 日●令和6年6月3日(月)

会 場●京都研修センター(京都市東山区)

3) 森林管理署等の挨拶・打合せ

①場 所●近畿中国森林管理局

⑪場 所●落合(埼玉)
人 数●2名(担当理事、指導員)
期 日●令和6年10月30日(水)

⑫場 所●大瀧神社(福井)
人 数●2名(担当理事、指導員)
期 日●令和6年12月9日(月)

4) 檜山の調査

人 数●9名(執行理事、担当理事、指導員2名、
リーダー5名)
期 間●令和6年6月13日(木)～12月9日(月)
調査場所●国有林／[中部森林管理局管内]
[近畿中国森林管理局管内]
市有林／[秩父市] 旧大滝村栃本(埼玉)
[河内長野市] 滝畑千石谷(大阪)
民有林／岡山個人林(岡山)、落合(埼玉)、
大瀧神社(福井)

5) 研修生(原皮師)採取技術審査会

参 加 者●10名(理事3名、指導員2名、正会員2
名、研修生3名)
期 日●令和6年12月19日(木)、20日(金)
会 場●鞍馬山国有林(京都市左京区)

6) 考課会議

人 数●5名(執行理事、担当理事、指導員2名、
事務局)
期 日●令和7年3月19日(水)
会 場●京都研修センター(京都市東山区)

③茅葺師養成研修事業(国庫補助事業)

1) 茅葺師養成研修(中級)

人 数●2名
期 間●令和6年9月2日(月)～27日(金)
研修区分●実習184時間
場 所●旧武石家住宅(新潟県西蒲原郡)

2) 茅刈り研修

人 数●3名
期 間●令和7年1月20日(月)～25日(土)
研修区分●実習40時間
場 所●大室山(静岡県伊東市)

3) 第1回 茅部会

参 加 者●12名
期 日●令和6年5月16日(木)
会 場●京都研修センター(京都市東山区)

内 容●令和6年度及び令和7年度 茅事業につ
いて 等

4) 第2回 茅部会

参 加 者●11名
期 日●令和6年7月31日(水)
会 場●京都研修センター(京都市東山区)
内 容●令和6年度 第1回茅部会での未確定事
項について
令和7年度 研修及びフォーラムの現場
提供案について
その他

5) 茅収納庫入荷の茅調査視察

調 査 員●1名
期 日●令和6年6月6日(木)
調査場所●大内宿(福島県南会津郡)

6) 茅収納庫契約について

調 査 員●3名(会長・副会長・理事)
期 日●令和6年9月17日(火)
調査場所●大内宿(福島県南会津郡)

7) 茅葺き協議会(フォーラム)

参 加 者●38名
期 日●令和5年9月18日(水)、19日(木)
会 場●旧武石家住宅味噌蔵(新潟県西蒲原郡)
弥彦村役場(新潟県西蒲原郡)
内 容●研修見学／旧武石家住宅味噌蔵研修現場
講 義／「旧武石家住宅の保存経過に
ついて」
[講師] 弥彦村文化財保護審議会委員
柏原 路子 様

④屋根板製作者養成研修事業 (国庫補助事業)

人 数●3名
期 間●令和6年9月24日(火)～10月4日(金)
研修区分●実習80時間
場 所●島根県

⑤「主任文化財屋根葺士」検定会 (京都市助成金)

1) 第24回(茅葺)

人 数●2名
期 間●令和6年10月7日(月)～12日(土)
場 所●山南研修センター(兵庫県丹波市)

内 容●主任文化財屋根葺士の認定・採点(茅)
実 技／令和6年10月7日(月)
～11日(金)
講義・学科／令和6年10月12日(土)
採 点／令和6年10月22日(火)
合格発表／令和6年11月7日(木)
検 定 員●外部5名(文化財建造物技術管理者)
内部10名(会長、副会長、常務理事、理事2名、茅部会員5名)

2) 主任文化財屋根葺士 認定証更新講習会

参 加 者●17名
期 日●令和6年11月22日(金)
会 場●京都研修センター(京都市東山区)
内 容●認定証の更新講習会／
「伝統技術の保存継承と今日的課題」
[講師] 京都女子大学
教授 鶴岡 典慶 様

6 研修会

1) 指導者研修会

参 加 者●14名
期 日●令和6年9月6日(金)
会 場●春日大社(奈良県奈良市春日野町160)
内 容●御本殿特別拝観、文化財修理現場見学
他
解説・説明／春日大社 館 俊秀 様

2) 文化財研修会

参 加 者●30名
期 日●令和6年11月29日(金)
会 場●鹿島神宮 回廊・楼門
(茨城県鹿嶋市宮中2306-1)
内 容●講演／「全国に広がる鹿島信仰」
[講師] 鹿島神宮文化研究所
所長 大津 忠男 様
概要説明／「修理概要説明」
(公財)文化財建造物保存技
術協会 酒巻 仁一 様

7 普及啓発事業

1) ふるさと文化財の森

「森が支える日本の技術2024 公開セミナー」
期 日●令和6年11月2日(土)、12月8日(日)
後 援●京都府教育委員会、京都市教育委員会、
林野庁 近畿中国森林管理局 京都大阪森

林管理事務所、公益財団法人 大学コン
ソーシアム京都、公益財団法人 京都古
文化保存協会、公益財団法人 京都市文
化観光資源保護財団

会 場●京都研修センター(京都市東山区)、清
水寺(京都市東山区)、園城寺(滋賀県大
津市)

内 容●柿葺及び茅葺技術・板割り・資材採取方
法(檜皮採取)の実演、展示、研修

① 柿葺・板割り実演、茅葺実演、竹釘打ち体験、 パネル展示

参 加 者●約1,000名
日 時●令和6年11月2日(土)
9:30～16:00
場 所●清水寺(京都市東山区)
人 数●15名(担当理事、企画委員2名、実演
指導3名、実演補助3名、事務局2名、
友好大使4名)

② 現場修理写真や道具・模型の展示(パネル展示)

参 加 者●50名
日 時●令和6年11月2日(土)
9:30～16:00
会 場●京都研修センター(京都市東山区)
人 数●2名(常務理事、事務局)

③ 文化財講座

参 加 者●23名
日 時●令和6年11月2日(土)
10:00～12:00
会 場●京都研修センター(京都市東山区)
内 容●講演／「国有林による木の文化を継承
する森林づくり」
[講師] 京都大阪森林管理事務所
所長 氏橋 亮介 様

④ 檜皮採取実演

参 加 者●約300名
日 時●令和6年12月8日(日)
10:00～15:00
場 所●園城寺境内(滋賀県大津市)
人 数●5名(執行理事、担当理事、理事、実
演者、事務局)

2) 文化庁主催「日本の技フェア」

参 加 者●1,124名
日 時●令和6年11月2日(土)、3日(日)
10:00～16:00
会 場●夢メッセみやぎ(宮城県仙台市)

人 数●6名(会長、副会長、担当理事、正会員、
実演者2名)

3) 特別講座

①第1回

参 加 者●38名

日 時●令和6年9月14日(土)
14:00～16:00

会 場●京都研修センター(京都市東山区)

人 数●4名(執行理事、担当理事、企画委員
2名)

内 容●講演/「ゼロからの発想 花とみどりで
街は変わる」
[講師]庭園デザイナー
石原 和幸 様

②第2回

参 加 者●21名

日 時●令和6年12月7日(土)
14:00～16:00

会 場●京都研修センター(京都市東山区)

人 数●4名(執行理事、担当理事、企画委員
2名)

内 容●講演/「変化する時代に応じた仕事の多様
性」
[講師]株式会社エデュワーク
代表取締役
越智 敏洋 様

①契 約 日●令和6年8月7日(水)

採取場所●[広島森林管理署]
仏通寺山国有林(広島県三原市)

②契 約 日●令和6年8月19日(月)

採取場所●[南木曾支署]
賤母国有林(長野県木曾郡)

③契 約 日●令和6年9月4日(水)

採取場所●[和歌山森林管理署]
権現山国有林(和歌山県橋本市)

④契 約 日●令和6年10月31日(木)

採取場所●[山口森林管理事務所]
城山国有林(山口県岩国市)

⑤契 約 日●令和6年12月2日(月)

採取場所●[京都大阪森林管理事務所]
鞍馬山国有林(京都市左京区)

9) 賃貸事業

京都市文化財建造物保存技術研修センター

期 間●令和6年4月～令和7年3月

賃 与 先●公益社団法人 全国社寺等屋根工事技術保
存会、一般社団法人 文化財修理技術保存
連盟、一般社団法人 社寺建造物美術保存
技術協会、一般財団法人 全国伝統建具技
術保存会、京都市道路環境整備課、立命
館大学 歴史都市防災研究所、浮世絵木版
画彫摺技術保存協会

8) 文化財修理用屋根葺資材の確保事業

1) 檜皮資材確保及び茅資材確保

優良な檜皮資材及び茅材の生産と確保の為、檜皮山
管理及び茅場管理

採 取 量●研 修 各 地/檜皮採取量 287丸
大内宿茅場/刈り取り量 199段
河内長野茅場/刈り取り量 1,250束

2) 檜皮採取の契約及び買受申込 (国庫補助事業)

国有林/[中部森林管理局管内]

賤母(長野)

[近畿中国森林管理局管内]

鞍馬山(京都)、仏通寺山(広島)、権現山(和
歌山)、城山(山口)

市有林/[秩父市]旧大滝村栃本(埼玉)

[河内長野市]滝畑千石谷(大阪)

民有林/明通寺(福井)

10) 会報等の発行

保存会に必要な事業実施の報告等を内容とした会報を
発行

[古文化] 第132号/令和6年7月31日発行

第133号/令和7年2月28日発行

[手 練] 第20号/令和7年2月掲載(HPのみ)

[選定保存技術養成研修事業 事業報告書]
/令和7年3月発行

[DVD撮影](1)芦浦観音寺(滋賀県草津市)

令和6年4月10日(水)・9月30日(月)・
10月28日(月)

令和7年2月3日(月)・3月31日(月)

(2)重要文化財 山本家住宅
(大阪府河内長野市)

- 令和6年10月2日(水)・12月6日(金)
 令和7年1月30日(木)・2月15日(土)
 (3)明通寺(福井県小浜市)
 令和6年11月21日(木)
 (4)株式会社 村上社寺工芸社
 (兵庫県丹波市)
 令和7年2月14日(金)
 (5)三瀧寺(広島県広島市)
 令和7年3月8日(土)

- (4)任意団体「文化財修理技術保存連盟」
 の解散手続きについて
 (5)その他(研修制度、資格制度、カリ
 キュラムの公開について)

Ⅱ その他法人の目的を達成するために必要な事業

1) 「伝統建築工匠の技」の保存、活用及び 発展を推進する会

令和6年度 総会

- 期 日 ● 令和6年5月28日(火)
 会 場 ● メール開催
 議 案 ● (1)2023年度事業報告及び決算の承認
 について
 (2)2024年度事業計画及び収支予算の
 承認について

2) (一社)文化財修理技術保存連盟

① 令和6年度 通常総会(第1回理事会)

- 期 日 ● 令和6年6月14日(金)
 会 場 ● 京都研修センター(京都市東山区)
 議 案 ● (1)友井新理事(全国社寺等屋根工事技
 術保存会)の選任について
 (2)役員改選
 (3)参与について
 (4)要望書2件について
 ①就職フェア ②賃上げ
 (5)会則について

② 臨時理事会

- 期 日 ● 令和6年8月7日(水)
 会 場 ● 京都研修センター(京都市東山区)
 議 事 ● (1)文化立国調査会 副会長 赤池 誠章議
 員との意見交換
 (2)要望書の理事会決裁

③ 第2回理事会

- 期 日 ● 令和6年9月27日(金)
 会 場 ● 京都研修センター(京都市東山区)
 議 事 ● (1)要望書提出の報告
 (2)文化財主任技能者制度の設立について
 (3)自民党友好団体の登録について

④ 第3回理事会

- 期 日 ● 令和6年12月10日(火)
 会 場 ● 京都研修センター(京都市東山区)
 議 事 ● (1)赤池議員からのご報告(補正予算等)
 (2)積算資料集の配布について(有料/
 無料)
 (3)資料集 技術資料編のデータ化について
 (4)ホームページについて
 (5)就職活動に関する文化庁からの提案
 (6)京都市宛の要望書について
 (7)会則案について
 (8)文化財主任技能者の基準について
 (豊城参与からのご提言)

⑤ 第4回理事会

- 期 日 ● 令和7年3月14日(金)
 会 場 ● 京都研修センター(京都市東山区)
 議 事 ● (1)積算資料集に関する報告
 (2)外部への積算資料集提供方法について
 (3)主任技能者の基準について

⑥ 書面理事会

- 期 日 ● 令和7年3月18日(火)
 会 場 ● メール開催(書面)
 議 事 ● 鶴岡典慶氏の顧問就任について
 (1)書面決議
 (2)書面審議の結果
 / 令和7年3月21日(金)

⑦ 第1回社員総会

- 期 日 ● 令和6年6月14日(金)
 会 場 ● 京都研修センター(京都市東山区)
 議 事 ● (1)監事設置の件
 (2)令和5年度事業報告及び決算の承認
 に関する件
 (3)設立時社員の法人成りに伴う入会の件
 (4)理事辞任に伴う改選に関する件
 (5)定款一部変更の件
 (6)その他(参与の件 等)

⑧ 第1回制度委員会

- 期 日 ● 令和6年5月23日(木)
 会 場 ● 京都研修センター(京都市東山区)
 議 事 ● (1)文化立国調査会の提言
 (2)文化庁発出の事務連絡「選定保存技

術保存団体(建造物分野)の研修内容検討のお願い」について
(3)文技連の研修・認定・資格制度について

⑨第2回制度委員会

期 日●令和6年7月26日(金)
会 場●京都研修センター(京都市東山区)
議 事●(1)文技連会則の検証
(2)各団体の研修制度・資格制度の内容に関する中間とりまとめ発表

⑩第3回制度委員会

期 日●令和6年9月27日(金)
会 場●京都研修センター(京都市東山区)
議 事●(1)各団体の研修・認定・資格制度の内容とりまとめ
(2)文技連会則案の検証 各団体での検証結果を発表、とりまとめ

⑪第1回広報委員会

期 日●令和6年11月18日(月)
会 場●オンライン開催(Zoom)
議 案●(1)代価表について
(2)ホームページについて

3)全国文化財保存技術連合会

令和6年度総会

期 日●令和6年11月2日(土)
場 所●夢メッセみやぎ 西館1階大会議室
(宮城県仙台市)
議 題●(1)令和5年度事業報告及び収支決算について
(2)令和7年度事業計画及び収支予算(案)について

4)(公社)全国国宝重要文化財所有者連盟

連絡協議会

期 日●令和7年3月14日(金)
会 場●都ホテル京都八条(京都市南区)
議 事●(1)報告会
(本年度研修・伝承事業等報告)
(2)協議会
(伝統技術の継承等～意見交換)

5)京都女子大学 家政学部 生活造形学科

「伝統技法演習」

参 加 者●学生 49名
期 日●令和6年11月20日(水)、12月4日(水)
会 場●京都研修センター(京都市東山区)

人 数●3名(担当理事、実演者2名)
内 容●伝統的屋根葺技術の説明、檜皮材拵え
実演、屋根葺体験
引 率 者●京都女子大学 教授 鶴岡 典慶 様

6)京都橘大学「産業文化論」

参 加 者●学生 97名
期 日●令和6年12月12日(木)
会 場●京都橘大学(京都市山科区)
人 数●1名(会長)
内 容●檜皮葺技術の講演

7)京都橘大学

「京都橘大学歴史遺産学科の研修」

参 加 者●学生 64名
期 日●令和7年1月11日(土)
会 場●京都研修センター(京都市東山区)
人 数●1名(理事)
内 容●文化財建造物 選定保存技術を知る

8)日本伝統建築技術保存会

「日本伝統建築技能研修(後期)」講座

参 加 者●19名
期 日●令和6年11月23日(土)、24日(日)
会 場●西日本会場 東大阪市文化創造館
(大阪府東大阪市)
人 数●1名(会長)
内 容●講義／[柿]歴史・材料・製法・土居葺
と化粧葺・軒付について
[檜皮]歴史・材料採取・下拵え・
竹釘・軒付について

9)ふるさと文化財の森システム推進事業

①第1回専門委員会

期 日●令和6年7月23日(火)
場 所●文化庁京都庁舎 特別会議室
議 題●(1)令和5年度の事業報告について
(2)ふるさと文化財の森システム推進事業
新規設定候補地について
(3)その他

②第2回専門委員会

期 日●令和7年3月13日(木)
場 所●文化庁京都庁舎 特別会議室
議 題●(1)令和6年度の事業実施状況について
(2)ふるさと文化財の森の新規設定について
(3)令和7年度普及啓発事業の公募について
(4)その他

10) 学校関係団体との意見交換会

①文化財修理団体と学校関係団体

参加者●23名
期 日●令和6年9月25日(水)
会 場●参議院議員会館 地下1階 B108会議室
(東京都千代田区永田町)
人 数●1名(会長)
内 容●(1)趣旨説明
(2)参加者紹介
(3)文化財修理技術保存連盟の取り組みについて
(4)全国工業高等学校長協会の取り組みについて
(5)全国工業専門学校協会の取り組みについて
(6)文化庁、文部科学省の取り組みについて
(7)質疑応答、意見交換
(8)今後の取り組みについて

②選定保存技術関係団体と学校関係団体

参加者●80名
期 日●令和6年11月2日(土)
会 場●夢メッセみやぎ 本館大ホール
(宮城県仙台市)
人 数●3名(会長、副会長、担当理事)
内 容●(1)選定保存技術関係団体の取り組みについて
(2)宮城県工業高等学校の取り組みについて
(3)仙台工科専門学校の取り組みについて

11) 内閣府公益認定等委員会事務局

参加者●310名
期 日●令和7年1月31日(金)
会 場●兵庫県中央労働センター 大ホール
(兵庫県神戸市)
人 数●2名(会長・事務局)
内 容●新しい公益法人制度ブロック説明会

12) 選定保存技術情報交換会

①第一部

参加者●40名
期 日●令和6年9月28日(土)
会 場●オンライン開催(Zoom)
人 数●1名(会長)
内 容●各団体の取り組み、人材確保、現状の問題について等

②第二部

参加者●54名
期 日●令和6年11月1日(金)
会 場●夢メッセみやぎ(技フェア会場)
本館会議棟2階 会議室BC
(宮城県仙台市)
人 数●2名(会長・副会長)
内 容●継承者育成、事業継承、資材・道具入手等

収支決算書総括表

令和6年4月1日から令和7年3月31日

1. 収入の部

(単位:円)

科 目	合 計	一般会計	特別会計	センター会計	助成金会計	屋根会計	茅 会 計	採取会計	板製作会計
入 会 金 等 収 入	350,000	350,000							
会 費 収 入	6,306,000	6,306,000							
寄 付 金 収 入	102,745	102,745							
国庫補助金収入	43,000,000					9,300,000	6,700,000	25,800,000	1,200,000
助 成 金	500,000				500,000				
負 担 金 収 入	2,419,645				310,188	622,255	1,059,514	384,088	43,600
雑 収 入	280,317	587	95,867	182,742	61	173	498	389	0
事 業 収 入	11,901,872		10,499,312	1,402,560					
受 託 費 収 入	1,999,936		1,999,936						
繰 入 金 収 入	1,200,000	0		1,200,000					
当 期 収 入 合 計	68,060,515	6,759,332	12,595,115	2,785,302	810,249	9,922,428	7,760,012	26,184,477	1,243,600
前期繰越収支差額	3,757,909	10,541,414	-6,936,796	153,291	0	0	0	0	0
収 入 合 計	71,818,424	17,300,746	5,658,319	2,938,593	810,249	9,922,428	7,760,012	26,184,477	1,243,600

2. 支出の部

科 目	合 計	一般会計	特別会計	センター会計	助成金会計	屋根会計	茅 会 計	採取会計	板製作会計
一 般 管 理 費	14,652,904	7,727,230	4,686,611	2,239,063					
管 理 委 託 費	630,795			630,795					
茅場管理事業費	102,274		102,274						
売上材料原価	2,676,600		2,676,600						
養成関連事業費	0		0						
研修会事業費	1,154,416		1,154,416						
普及活動事業費	2,763,926		2,763,926						
檜皮採取事業費	0		0						
助 成 金 事 業 費	810,249				810,249				
屋根養成研修費	9,922,428					9,922,428			
茅葺技能者研修費	7,760,012						7,760,012		
採取者養成研修費	26,184,477							26,184,477	
板製作者養成研修費	1,243,600								1,243,600
負 担 金 支 出	2,419,645		2,419,645						
繰 入 金 支 出	1,200,000		1,200,000						
当 期 支 出 合 計	71,521,326	7,727,230	15,003,472	2,869,858	810,249	9,922,428	7,760,012	26,184,477	1,243,600
当 期 収 支 差 額	-3,460,811	-967,898	-2,408,357	-84,556	0	0	0	0	0
次期繰越収支差額	297,098	9,573,516	-9,345,153	68,735	0	0	0	0	0

令和7年度事業計画

1 文化財屋根葺士養成研修事業 (国庫補助事業)

1) 第25期生 養成研修 修了式

人 数●3名
日 時●令和7年4月17日(木)
会 場●京都研修センター(京都市東山区)

2) 第26期生 養成研修 開講式

人 数●4名
日 時●令和7年4月17日(木)
会 場●京都研修センター(京都市東山区)

3) 第26期生 前期研修

人 数●3名
期 間●令和7年5月12日(月)
～9月30日(火) 予定

研修区分●講義104時間

実習600時間

講義場所●京都研修センター(京都市東山区)等

実習場所●兵庫方面 等

3) 森林管理署等の挨拶・打合せ

人 数●3名
期 間●令和7年5月～7月 予定
場 所●国有林／[中部森林管理局管内]
[近畿中国森林管理局管内]
市有林／[秩父市] 旧大滝村栃本(埼玉)
[河内長野市] 滝畑千石谷(大阪)
民有林／[越前市] 大瀧神社(福井)

4) 檜山の調査

人 数●10名
期 間●令和7年5月～7月 予定
場 所●国有林／[中部森林管理局管内]
[近畿中国森林管理局管内]
市有林／[秩父市] 旧大滝村栃本(埼玉)
[河内長野市] 滝畑千石谷(大阪)
民有林／[越前市] 大瀧神社(福井)

5) 檜皮採取指導者及び準会員合同研修会

参 加 者●50名
期 間●令和7年12月18日(木)～19日(金)
会 場●九州大学演習林及び研修施設

2 檜皮採取者(原皮師)養成研修事業 (国庫補助事業)

1) 中級研修生(原皮師)研修

人 数●14名
期 間●令和7年8月18日(月)
～令和8年1月23日(金) 予定
研修区分●実習1,128時間
歩道整備 40時間
実習場所●国有林／[中部森林管理局管内]
賤母(長野)
[近畿中国森林管理局管内]
鞍馬山(京都)、野山(奈良)、
城山(山口)、権現山(和歌山)、
仏通寺山(広島)
市有林／[秩父市] 旧大滝村栃本(埼玉)
[河内長野市] 滝畑千石谷(大阪)
民有林／[越前市] 大瀧神社(福井)

2) 採取全体会議

参 加 者●14名
期 日●令和7年5月23日(金)
会 場●京都研修センター(京都市東山区)

3 茅葺師養成研修事業(国庫補助事業)

1) 茅葺師養成研修(中級)

人 数●3名 予定
期 間●令和7年9月 予定
研修区分●実習160時間
場 所●史跡足利学校裏門(栃木県足利市) 予定

2) 茅葺協議会(茅葺きフォーラム)

参 加 者●40名 予定
期 日●令和7年9月12日(金) 予定
会 場●史跡 足利学校裏門・足利のわかりやす
い歴史館(足利まちなか遊学館)
(栃木県足利市)
内 容●研修見学と協議会

3) 茅刈り研修

人 数●5名 予定
期 日●令和8年1月 予定
研修区分●実習 40時間
場 所●大室山(静岡県伊東市) 予定

4) 茅部会

参加者●12名
期 日●第1回 令和7年5月15日(木)
第2回 令和7年8月予定
会 場●京都研修センター(京都市東山区)
内 容●令和7年度及び令和8年度茅事業について等

5) 茅収納庫入荷の茅調査視察

調査員●2名(執行理事、担当理事)
期 間●令和7年6月～7月予定
場 所●大内宿(福島県南会津郡)

4) 屋根板製作者養成研修事業 (国庫補助事業)

人 数●4名
期 間●令和7年11月10日(月)～20日(木)予定
研修区分●実習80時間
実習場所●島根県

5) 「主任文化財屋根葺士」検定会 (京都市助成金)

1) 令和7年度(檜皮・柿葺、茅葺)

人 数●4名予定
期 間●令和7年10月20日(月)～25日(土)
場 所●山南研修センター(兵庫県丹波市)
内 容●檜皮・柿葺士または茅葺師として10年以上従事し、今後とも活動する意志があると認められる葺士を対象として、年1回屋根葺の高度な技術及び知識を修得しているか否かを実技、座学で評価。合格者には認定書を発行。

2) 主任文化財屋根葺士 認定証更新講習会

参加者●26名
期 日●令和7年11月14日(金)予定
会 場●京都研修センター(京都市東山区)
内 容●認定証の更新講習会

6) 研修会

1) 指導者研修会

参加者●30名予定
期 日●令和7年5月14日(水)
会 場●京都研修センター(京都市東山区)

内 容●(仮称)事業承継について

2) 文化財研修会

参加者●100名前後
期 日●令和7年予定
会 場●妙心寺(京都市右京区)
内 容●現場見学や文化財講演会を通じ、古来より先人達が築いてきた心と技を学ぶ。

7) 普及啓発事業

1) 特別講座

参加者●各30名前後
期 日●令和7年6月～令和8年2月
計2回予定
会 場●京都研修センター(京都市東山区)
内 容●一般の方々を対象に、日本の伝統文化のみならず様々な分野から講師を招き、講演会を開催。

2) 日本の技 体験フェア(文化庁主催)

人 数●5名(保存会関係者)予定
期 日●令和7年11月22日(土)、23日(日)
会 場●サンドーム福井(福井県越前市)

3) ふるさと文化財の森

「森が支える日本の技術 2025公開セミナー」
期 間●令和7年10月～11月
会 場●京都研修センター(京都市東山区)、清水寺境内(京都市東山区)、園城寺(滋賀県大津市) 予定

4) (仮称)「植物×匠」展覧会

東京会場●国立科学博物館(東京都台東区)
期 日●令和7年7月29日(火)～9月29日(月)
神戸会場●竹中大工道具館(神戸市中央区)
期 日●令和7年10月11日(土)～12月14日(日)

5) 大阪・関西万博メディア協力催事 伝統文化 未来共創プロジェクト

期 間●令和7年6月3日(火)～8日(日)
会 場●大阪 夢洲(大阪市此花区)

8) 文化財修理用屋根葺資材の確保事業

1) 檜皮資材確保及び茅資材確保

優良な檜皮資材及び茅材の生産と確保の為、檜皮山管理及び茅場管理。

檜皮採取他
大内宿(福島県南会津郡)
岩湧山(大阪府河内長野市)
大室山(静岡県伊東市)

2) 檜皮採取の契約及び買受申込 (国庫補助事業)

国有林●[中部森林管理局管内]
賤母(長野)
[近畿中国森林管理局管内]
野山(奈良)、仏通寺山(広島)、権現山(和歌山)、城山(山口)、鞍馬山(京都)
市有林●埼玉県秩父市、大阪府河内長野市
民有林●福井県越前市

2) 「伝統建築工匠の技」の保存、活用及び発展を推進する会 全体会議

期 日●令和7年11月22日(土)

3) (一社)文化財修理技術保存連盟 令和7年度 通常総会

期 日●令和7年6月13日(金)

4) 全国文化財保存技術連合会 総会

期 日●令和7年11月21日(金)

5) (公社)全国国宝重要文化財所有者連盟 連絡協議会

期 日●未定

9 賃貸事業

市民の文化の向上及び発展に資するため、文化財建造物その他の文化財保存と技術の継承を図るための事業を実施する法人等に施設を貸与。

京都市文化財建造物保存技術研修センター

期 間●令和7年4月～令和8年3月

貸 与 先●各種選定保存技術保存団体 等

10 会報等の発行

保存会に必要な事業実施の報告等を内容とした会報を発行

[古文化] 第134号／令和7年7月発行予定

第135号／令和8年2月発行予定

[手 練] 第21号／令和8年2月掲載予定(HPのみ)

[選定保存技術養成研修事業 事業報告書]

／令和8年3月発行予定

[DVD 撮影] 平成29年に製作したDVDのリニューアル版を撮影

／令和8年度 成果品完成予定

11 その他法人の目的を達成するために必要な事業

1) ふるさと文化財の森システム推進事業専門委員会

「ふるさと文化財の森設定について 等」

期 日●未定

収支予算書総括表

令和7年4月1日から令和8年3月31日

1. 収入の部

(単位;円)

科 目	合 計	一般会計	特別会計	センター会計	助成金会計	屋根会計	茅 会 計	採取会計	板製作会計
入 会 金 収 入	0	0							
会 費 収 入	6,164,000	6,164,000							
寄 付 金 収 入	0	0							
国庫補助金収入	46,000,000					12,000,000	7,000,000	25,400,000	1,600,000
負 担 金 収 入	4,334,000				814,000	1,060,000	1,060,000	1,300,000	100,000
事 業 収 入	10,710,000		8,600,000	2,110,000					
雑 収 入	250,237	227	150,010	100,000					
受 託 費 収 入	5,000,000		5,000,000						
繰 入 金 収 入	400,000	0		400,000					
助 成 金	500,000				500,000				
当期収入合計	73,358,237	6,164,227	13,750,010	2,610,000	1,314,000	13,060,000	8,060,000	26,700,000	1,700,000
前期繰越収支差額	3,757,909	10,541,414	-6,936,796	153,291	0	0	0	0	0
収 入 合 計	77,116,146	16,705,641	6,813,214	2,763,291	1,314,000	13,060,000	8,060,000	26,700,000	1,700,000

2. 支出の部

科 目	合 計	一般会計	特別会計	センター会計	助成金会計	屋根会計	茅 会 計	採取会計	板製作会計
一 般 管 理 費	11,706,000	5,300,000	4,440,000	1,966,000					
管 理 委 託 費	630,000			630,000					
茅場管理事業費	150,000		150,000						
売上材料原価	2,500,000		2,500,000						
養成関連事業費	0		0						
研修会事業費	900,000		900,000						
普及活動事業費	5,450,000		5,450,000						
檜皮採取事業費	0		0						
森林整備事業	0		0						
助成金事業費	1,314,000				1,314,000				
屋根養成研修費	13,060,000					13,060,000			
茅葺技能者研修費	8,060,000						8,060,000		
採取者養成研修費	26,700,000							26,700,000	
板製作者養成研修費	1,700,000								1,700,000
負 担 金 支 出	4,334,000		4,334,000						
繰 入 金 支 出	400,000		400,000						
当期支出合計	76,904,000	5,300,000	18,174,000	2,596,000	1,314,000	13,060,000	8,060,000	26,700,000	1,700,000
当期収支差額	-3,545,763	864,227	-4,423,990	14,000	0	0	0	0	0
次期繰越収支差額	212,146	11,405,641	-11,360,786	167,291	0	0	0	0	0

令和7年度 指導者研修会

期 日 ● 令和7年5月14日(水)
講 師 ● 税理士法人C&P 堀内 伸浩 様
会 場 ● 京都市文化財建造物保存技術研修センター

「事業承継の基本と 自社に合った最善手の見つけ方」

講師に税理士法人C & P 社員税理士 堀内 伸浩様をお招きし、相続税及び会社のM&Aについてご説明をいただきました。

【講演レポート・感想】

関係各位の多くは法人形態のため、事業継承を行う上での一番の障害が相続税法、贈与税法であることを再確認しました。

正会員の多くが幾星霜を経て現在の法人形態をとっているのは、保存会員皆様に自覚があるからだと思います。それを踏まえ、まずは自社にどのような資産があるのかを明確化し、事業承継を行う上での弊害、障害の洗い出しを行うなど、事業承継の最初のステップについてご講義をいただきました。

どのような資産があって、どのような負債があるのか、会社の事業を続けていくためのプロセス上の手続きにおいて、後継者にやらせておくべき流れを洗い出し、実際に体験させておくことが必要であり、そのときに障害となるのが税制であるということに言及されました。その中でも贈与税法、相続税法、そして法人の自社株が承継に一番大きく関わってくるということでした。長く会社を続けてこられたということは、各正会員の会社に積み上がった資産も自然と大きくなっていることが想像に難しくなく、自社株の評価額というものも、自ずと非常に高くなりがちであるということです。

そうなってくると、どのような問題が起こり得るのか。代々屋根工事業を営んできた我々の会社の株券というものは流動性が少なく、売買がほぼ不能であるものがほとんどです。しかしながら、事業承継、あるいは相続が起こった際には、税務署から高額な価値がある資産としてみなされ課税されるということをあらかじめ考えておかなければなりません。

自社株の評価というものには、類似業種比準価額方式を利用する場合があります。これは「類似業種の株価」、さらに「1株当たりの配当金額」、「年利益金額」、

及び「純資産価額」の4つの要素を基準として算定することが税務上の一般的な取り扱いであるということです。そう考えると、自社株への安易な配当は、事業承継、相続をする上では自社株価を高止まりさせる原因になり得るので、検討が必要となります。

あらかじめ、株価の算定を始め、どれぐらいの相続税になるのかのシミュレーションを重ねた上で、事業承継税制を利用し、この相続税を圧縮できないか、繰り延べをすることができないかを前もって検討しておくことが急務であると指摘されました。

さらに、何度も繰り返しいわれたことは、前もって準備をし想定を重ねておくことの必要性でした。今ではないからといって、先送り^{ひとごと}にしているところがほとんどではないかと思われます。他人事とは思わず準備を進めることの重要性を新たに感じました。

最後に

それでも承継が難しい場合の選択肢として、会社を他社に委ねる、株券を売り渡すという方法の「M&A」という選択肢があることについても言及されました。

我々保存会正会員の職種からして、会社を畳んで他社に売却するという選択肢の可能性はほぼ0といえますが、建設業としては決して珍しい事例ではないこと、事例における教養として、初めて耳にする内容だったのでないかと思います。M & Aとしては、逆に他社を買うという選択肢のほうがまだ可能性はあるかなと個人的には感じますが、皆様は法人としての選択肢の一つとして、講師の話を真剣に拝聴していたように思います。



文化財屋根葺士養成研修 第25期生 修了式 並びに 第26期生 開講式

期日 ● 令和7年4月17日(木)

会場 ● 京都市文化財建造物保存技術研修センター

文化財屋根葺士養成研修第25期生の修了式、並びに文化財屋根葺士養成研修第26期生の開講式を執り行いました。多数の御来賓、関係各位の御臨席のもと、研修生たちは皆緊張した面持ちで式に臨みました。日本の文

化財を継承していくという仕事の重要性や意義を十分理解しながら、今後は各会社の中で一人前の職人を目指し、精進していただきたいと思います。また、新たな研修生たちが、これから知識と技術の習得に励むことになります。気を引き締めて、日々の研鑽に努めてください。

研修に際しまして、ご指導をいただきました関係各位、講師の先生方には心より御礼申し上げます。

[文化財屋根葺士養成研修 第25期生]

- 末岡 治人 / (株)小山社寺工業所
- 友井 康介 / (株)友井社寺
- 平尾 零 / (株)松村工務店



[文化財屋根葺士養成研修 第26期生]

- 足立 諒 / (株)児島工務店
- 石原 直和 / (株)児島工務店
- 竹内 蓮太 / (株)村上社寺工芸社
- 徳田 翔琉 / (株)村上社寺工芸社



京都市文化財建造物保存技術研修センターにて

来賓祝辞

文化庁文化資源活用課
修理指導部門 文化財調査官
結城 啓司



全国社寺等屋根工事技術保存会様は、現在、檜皮葺・柿葺、茅葺、檜皮採取、屋根板製作の4つの技術で国から選定保存技術の保存団体として認定されています。これはすなわち、この4つの技術について、その後継者育成のための研修を着実に実施されている団体であることをもって認定させていただいています。その中で一番初めに認定されたのは檜皮葺・柿葺の技術ですが、昭和51年5月4日に認定されました。先程、会長のご挨拶の中で50年とありましたが、来年ちょうど選定・認定から50周年という記念すべき年を迎えられます。

この50年間、もちろん私はずっとその研修を見てきたわけではありませんが、様々な資料や記録等を読み返してみると、文化財建造物、あるいはその職人、あるいはそういったものを取り巻く社会環境が大きく変化してきていると思います。その中で、このような研修をずっと続けておられて、さらに後継者を着実に育成されてきたことは本当に大変なことであり、本当に感謝する次第でございます。

その間、様々な変化や課題への対応があったと思います。4つの技術が次々と認定されてきたということもございます。また、材料の問題もございました。平成10年代前後には全国的に檜皮が取れなくなり、檜皮が出回らないというようなこともございました。そこで、平成18年度から文化庁が始めたのが、「ふるさと文化財の森システム推進事業」というものです。そちらも来年で20周年となります。

20年、50年という長い年月ですけれども、その中でも環境に合わせて研修や資料採取をしていただいていることは本当に有り難く思うと同時に、これからは様々な変化に対応していただく必要があると感じます。変化のきっかけとして、令和2年にユネスコ無形文化遺産に「伝統建築工匠の技」が登録されたことがあり、それなりに大きな注目を浴びたとこちらは認識しております。そこで、文化庁では、「文化財の匠プロジェクト」を開始して、これまで手薄だった原材料や資材に関して、またその技術者の技術継承、後継者育成を確実に実施していこうという取り組みを始めております。

その中で、令和6年4月には、文化財補助金の交付要綱の中での特殊条件として、「伝統技術が必要な工事においては選定保存技術保持者や保存団体に属する者等、

高い技術を有するものを使用しなければならないこと」と記載しております。それを受けて、「高い技術とはどのようなものか、またその技術をもった人がどこにいるのか、あるいはその技術は具体的にどのようなものか、そういったことが明確になるような資格制度のようなもの、そしてそういった情報を対外的に発信していく」ということが求められており、今まさに文技連をはじめとして、そのような認定制度、資格制度、情報発信などに向けて動き出されていると承知しております。

繰り返しになりますが、この50年間、皆様方が大変なご苦勞をしながら実施されてきた研修制度はこのままで良いのか、あるいはどのように改善すれば良いのか、どうすれば今の時代に対応できるのか、といったことを見直す良い機会だと思います。当然、今まで維持してこられた研修のすべてを変えることは必要ないと思いますが、改めて今の時代は何をすべきかを検討していただければと考えております。

これから2年間、第26期生の方々は長い時間をかけて研修を受けていただくことになると思いますが、今申し上げたように文化財を取り巻く社会や行政などが大きく変わってきているということを心に留めながら、楽しく充実した研修になっていただければと思います。また、研修を終えた第25期生の方々は、研修で培った技術や経験を、これからの現場や職場、そして社会で活かしていただければ幸いです。

皆様の益々のご活躍を祈念して、お祝いの言葉とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございます。

来賓祝辞

京都府教育庁指導部
文化財保護課

参事 島田 豊



本日は、文化財屋根葺士養成研修の第25期生が修了式を、第26期生が開講式を迎えられること、そして、その修了式・開講式がこのように盛大に開催されますこと、誠にありがとうございます。また、本日ご参加の保存会の方々をはじめ、文化庁、関係機関の皆様には、日頃より京都府内の文化財建造物の保護に関して大変お世話になっており、京都府の文化財建造物行政に関わる技術者を代表して、この場をお借りして厚く御礼を申し上げます。

さて、御存知の通り京都府内にも数多くの檜皮葺・柿葺の建造物が残され、守り伝えられています。そして、国宝・重要文化財に指定されている建造物について、京都府が受託する形で1年あたり約20件の修理事業を行う中で、その3分の1程度は檜皮葺・柿葺の屋根をもつものとなっています。このような修理事業を実施していくには、文化財所有者の建造物を守り伝えていこうとする思いが欠かせませんが、加えて修理に関係する技能者がある技術を確実に守り伝えていくことも重要となります。

そのような観点からは、今回修了式を迎えられた3名の方々には、今後、修理現場においてお目にかかれることを、そしてこの研修の中で培った技術を発揮されている姿を拝見できることを楽しみにさせていただきます。また、今回開講式を迎えられた4名の方々には、このような修理現場に対応していくことができるように、これからの研修で専門的な技術や知識をしっかりと身につけていただければと考えています。

加えて、研修を担当されている保存会の方々、また講師の方々におかれましては、通常の業務などを行う中での対応、大変ご苦勞様でございます。京都府におきましては、この研修が国庫補助事業として行われることから、その事務を経由するという役割を担っておりますが、今後の研修が滞りなく運び、有意義なものとなりますことをお祈り申し上げます。

以上、大変簡単ではございますが、祝辞とさせていただきます。改めてとはなりますが、本日は誠にありがとうございます。

来賓祝辞

公益社団法人
全国国宝重要文化財所有者連盟

常務理事 鶴岡 典慶



本日は、文化財屋根査士の修了式並びに開講式の開催、誠にありがとうございます。ご紹介いただきました(公社)全国国宝重要文化財所有者連盟 常務理事の鶴岡でございます。

全文連という組織については、研修生の皆さんは初めて聞くかもしれませんが、全国の国宝重要文化財である建造物や美術・工芸品の所有者が集まって活動している団体です。またこの活動にご支援いただく各関係の方々にも賛助会員として入っていただいております、現在約700の会員で構成されています。この保存会の方々も数多く賛助会員として参加していただいております、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

さて、私たち文化財所有者は、日々文化財の管理とともに定期的な大きな修理に多くの経費を必要とし、正直なところ大変苦勞しているのが実情です。特に檜皮葺・柿葺になりますと30年から40年毎の葺き替えがあり、最近は檀家や氏子等からの支援が困難となってきて非常に大きな負担になるため、全文連としては少しでも負担の軽減が図られるよう文化庁や財務省に補助金等の要望活動を行っているところです。近年は、国の予算は減額されることなく少しずつ増加しており、保存にとって非常に有り難く、今後も引き続き要望活動に取り組んでいきたいと思っております。ただ、各地域の都道府県や市区町村の支援が最近手薄になってきていますので、その支援についても強く要望していきたいと思っております。

このお話をさせていただいたのは、皆さんが施工される文化財の修理には、国民からの多くの税金が用いられているということを認識しておいていただきたいの思いからです。また、文化財所有者は、お金を確保することが大きな責務ですが、実際修理をしていただくのは各専門的な方々に委ねることになります。そういう意味では信頼をして皆さんにお任せをするという立場になりますので、しっかりとした技術をもって励んでいただきたいと思っております。

屋根は一番に雨を防ぐという役割があります。日常的に日本は雨が多いので、それを防ぐのが一番ですが、最近は勢力の大きな台風が多くなってきましたので、風に耐えうる強度も必要です。さらに「少しでも長持ちしてほしい」ですし、それに加えて「美しく」という見栄えも期待されます。出来上がった時に関係者の方々が屋根

講師祝辞



OFFICE 萬瑠夢

代表 村田 信夫

を見て綺麗だと喜んでいただけることは、所有者として非常に嬉しいことでもありますので、そういう様々な課題や要望に対して対応していただけるよう日々頑張りたいと思います。

また歴史的建造物はすべて同じではありません。一定のパターンはありますが、一つ一つ違うことを認識し、この建物にはどんな特徴があるかを常に考えながら、「それぞれの屋根のラインの個性を活かす」との意識を持って、仕事に励んでいただければ有り難いです。

25期生の方は、いよいよ本格的に工事現場に入り、先輩方と一緒に仕事をしていくわけですが、まだまだ学ぶことはたくさんあると思いますので、先輩方を見ながら技術を向上させていってください。最近の先輩方は昔と違って優しいので皆さん丁寧に教えてくださる方も多くなったようですが、やはり自分自身でしっかり見て学んでいくことが大事ですから、技を盗む気持ちで取り組んでいって欲しいと思います。

26期生の方はこれから研修が始まり、会社内だけでなく他の企業の方や先輩等、普段会わない方からいろんな技術を教えていただく貴重な機会です。研修を終えた後にはこのような機会は少ないですから、この研修を有意義なものにして技術を学んでいってください。

最後になりましたが、この研修が今後も益々充実され後継者の育成が図られますとともに保存会のさらなるご発展をお祈りしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

本日は、誠におめでとうございます。

本会の文化財屋根葺士養成研修の終了生、及び同研修の新たな受講生に、研修講師を代表してお祝いの言葉を贈ります。

私が担当した講義は、文化財保護法と文化財建造物演習で、何れも暑い時でした。研修生は、日頃は檜皮葺などの現場作業なので、終日の座学はさぞや大変だったのではと想像しています。建造物演習は、滋賀県と京都府にある国宝建造物などでした。研修生からは積極的な質問がありましたので、真摯に研修されているなと嬉しく感じました。

また、演習先の所有者には、何れの見学にも特別なご配慮をいただきました。これは所有者と本会に信頼関係があり、本会のことをよくご理解されているからだと思います。

次いで新たな受講生に、私が日頃若い人に話していることを伝えます。簡単に転職しないでください。昨今は転職サイトで、大いに転職を勧めています。仕事を続けていると、自分には適していないのではないかと、人間関係が上手くいかないなどの迷いが生じてくるでしょう。しかし、最適な職業に就いている人は、そう多くはないと思います。何処にいても対人関係は避けては通れないものです。

ところで、この研修を含め文化財修理技術保存連盟の研修は、国庫補助を受けています。さらに研修関係者の労力を含むと人的、金銭的には膨大なものになります。新たな受講生は、このことを十分に理解した上で、どうか実りある研修にしてください。

激励の言葉

京都市文化市民局
文化芸術都市推進室
文化財保護課
文化遺産普及・活用担当課長
井口 雅文



本日は、文化財屋根葺士養成研修の修了式及び開講式がこのように盛大に執り行われますことを心からお慶び申し上げます。また、全国社寺等屋根工事技術保存会におかれましては、友井会長を先頭に、文化財の修理事業や伝統文化の技術継承に御尽力いただいておりますことを、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

まず、第25期生として、研修を修了された末岡治人さん、友井康介さん・平尾零さんの3名の皆様に、心よりお祝いを申し上げます。2年間にわたる研修課程の成果は、日本の伝統文化を未来へ繋ぐ、貴重な財産となることでしょう。皆様の技術と情熱が、日本の貴重な文化財を未来へと継承していく力となることを期待しております。

また、新たな研修生として足立 諒さん、石原 直和さん、竹内 蓮太さん、徳田 翔琉さんの4名の皆様を、お迎えできましたことを、誠に喜ばしく思います。

伝統的な建築技術を継承し、発展させていく上で、様々な困難なこともあるかと存じますが、今日のこの出会いを糧に、仲間とともに切磋琢磨し、文化財を守る担い手として大きく成長されることを期待しております。

檜皮採取や伝統的な屋根葺など、文化財保存の技術は、わが国の貴重な文化遺産です。50年近く前、技術者の高齢化の危機感から文化財保護法が改正され、これらの技術が保護対象となりました。しかし、今もなお、伝統技術の継承と後継者の育成は喫緊の課題です。

そのような中、文化財建造物保存技術研修センターが中心的な役割を果たし、ここに研鑽を積まれる皆様がいらっしゃることを誠に心強く感じております。

京都は古都としての豊かな歴史と文化を誇り、数多くの貴重な文化財を有しており、その最たるものといえる世界遺産「古都京都の文化財」は昨年12月に登録から30周年の節目を迎えました。京都市としましても、引き続き、国民の宝といえる文化財の保存に欠くことのできない文化財保存の技術の支援に力を尽くしてまいります。

結びにあたりまして、研修を修了された皆様、あるいはこれから受講される皆様が、文化財の保存技術者としての研鑽を積み、将来の文化財の守り手として御活躍いただきますこと、並びに、本日御出席いただいております皆様の御健勝と御多幸を祈念いたしまして、簡単ではありますが激励の言葉とさせていただきます。

修了生謝辞

文化財屋根葺士養成研修
第25期生 末岡 治人



私たちは、この研修期間の中でたくさんの経験をしました。研修生一人一人がここでしかできない様々な貴重な経験を積むことができ、一生の財産となる知識・技術を身につけました。

主に研修では、屋根材の加工を経験しました。元々、会社で皮切りの経験があまりなかったので、この研修で指導員の方々から様々なやり方や技術を教えていただき、とても貴重な経験をしました。

そして、卒業実習の石山寺の現場では、友井君、平尾君とともに指導員の河村さんたちのご指導のもと、自分たちで作った材料で屋根を納めることができ、改めてこの仕事の難しさとやりがいを感じた、この研修で一番の経験となりました。

本当に難しい仕事だなと年数が経てば経つほど痛感しますが、ここで学んだことを忘れずに、会社に帰ってからも同期の友井君、平尾君とお互いに切磋琢磨しながら伝統を受け継ぎ、次の世代の手本になれるように精進していきたいと思っています。

最後に本日まで出席いただきました皆様、誠にありがとうございました。

以上をもちまして、修了生代表の挨拶とさせていただきます。



全国社寺等屋根工事技術保存会 友井会長からの挨拶

文化財屋根葺士養成研修 第26期生 前期研修 開始

期 間 ● 令和7年5月12日(月)～9月30日(火)
会 場 ● 京都市文化財建造物保存技術研修センター

令和7年度国庫補助事業、文化財屋根葺士養成研修第26期生が4月17日(木)に京都市文化財建造物保存技術研修センターで開講式を行い、5月12日(月)から前期の研修を開始致しました。今回3名の研修生が研修を受けております。

研修内容は、実技として材料整形・模型を使用した屋根葺・現場実習と、座学として、日本建築史、積算・仕様・工程管理、建築史演習、文化財保護法、日本建築の構造と仕様、原材料採取方、労働安全衛生法、専門工法などたくさんの科目があります。

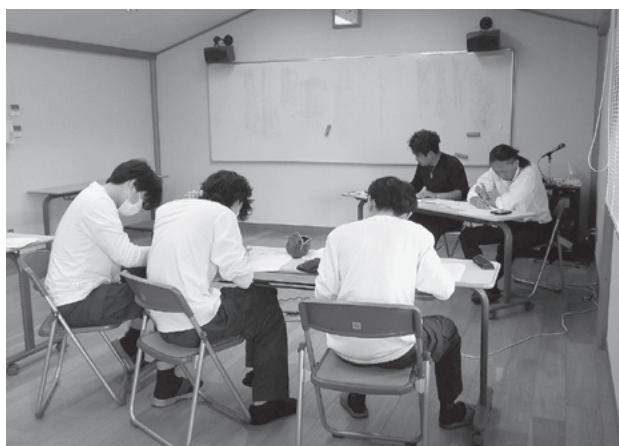
今年度からは、一部の講義を研修生だけでなく、会員の皆様を対象に聴講生の参加を募集し、一緒に聴講できるようになりました。文化財の修復に携わる者として、知識や知見を広げていただき、スキルアップに役立つも

のと考えております。直前まで申し込み可能ですので、是非ご参加ください。

研修生の皆さん、この仕事に興味を持ち、有意義な研修になるように頑張ってください。関係者各位には今後とも一層のご指導、ご協力の程よろしくお願いいたします。



現場実習



積算・仕様・工程管理



あて作り



材料整形



葺実習

講義内容の紹介

●講師からのメッセージ

講義項目：日本建築の構造と仕様

公益社団法人
文化財建造物保存技術協会
参事 事業部大阪監理事務所長
丸石 暢彦



5月19日(月)、「日本建築の構造と仕様」と題して1日掛けて話をしましたが、まず最初に文化財建造物の指定状況を分かってもらうため指定物件の時代別比率、地域別の分布比率を示した円グラフを使って話をしました。話をしながら改めてここ最近の指定により、近現代のジャンルの指定件数が増えたことを認識しました。しかしながら依然、文化財の中心は社寺建造物であることもグラフからは読み取れました。そしてその多くは檜皮、柿を主とした植物性資材で屋根が葺かれ、その維持には定期的な屋根の葺替が必要なことは言うまでもありません。研修生の皆さんはこの役割を担う立場であることは言うまでもありません。今回の研修はその第一歩としての位置づけで、今後、半期、2年に及ぶ研修は貴重な時間を使っての研修となります。より多くの成果が得られることを期待しています。

研修生の皆さんの仕事は屋根に関わる作業なので、建物の修理に関わっているとはいえ、足場が架かっているため建物の全景を見ることなく現場が終わることも多い

のではと思います。そういうことから今回の研修では建物全景が写ったスライドを多く用意して話をしました。できれば今後、研修を受ける中で屋根だけではなく、建物本体にも興味をもってもらい、建物全体のことを理解して仕事をしてもらえればと思います。

今回は屋根葺士の養成研修として3人の研修生の他、聴講生として10人余りの会員の方々の参加もありました。想定以上の多くの方々の参加に講師側も困惑してしまいましたが、研修の最後には聴講生を交えての意見交換で、意義のある会になったのではと思っています。

今回、話をした内容が直ぐに仕事に役立つものではないと思います。しかし、今後、仕事をしていく中で、何かの折に思い出してもらい、役立ってもらえれば願っています。今後もさらに研鑽を積んで立派な職人になってもらい、文化財の保存の重責を担ってもらいたく思います。

講義項目：日本建築史

内 容：「桂離宮の意匠と文化的背景」

京都女子大学
名誉教授 斎藤 英俊



5月23日(金)と6月6日(金)の各4時間、合計8時間を掛けて「日本建築史」の講義を行いました。一般的な「日本建築史」の講義では、先史時代の住居から始まり、古代・中世の寺院建築や神社建築の構造的発展、寝殿造りから書院造りへの空間的・平面的変遷、江戸時代の民家建築の地方的特色などなどを解説するのが定番かと思っています。しかしこれらの建築の歴史を丁寧に説明するには8時間では足りません。また、一通りの知識の習得ならば、参考書や教科書を読めば済みます。

以上の事から私の講義では、テーマを「桂離宮」に絞り、桂離宮の建築の文化的背景と意匠に関して詳細に紹介し



ました。桂離宮の建築は簡素な美しさが高く評価されています。また、一般的には侘び寂の造形、茶の湯の空間などと評価されることもあります。はたして、そうなのでしょうか。桂離宮がどのような時代背景の中で造られ、どのような人によって、どのような目的で造営されたかを知れば、桂離宮は王朝的な美意識と和歌的世界で構築されていることを理解することができます。その意図は桂離宮の庭園や建物の構成や細部の意匠に見いだすことができるでしょう。

皆さんの仕事は、一般の人が近寄れないような歴史的に価値の高い建物を後世に長く残すための極めて重要な作業なのです。皆さんが担当する建物を単に仕事場として考えるのではなく、そうした建物が生まれた時代や文化的な背景を学べば、仕事が一層楽しく、やり甲斐を感じられるものになると確信しています。

柿葺や檜皮葺の伝統の技は UNESCO 無形文化遺産に登録されている「伝統建築工匠の技」の構成要素の1つです。皆さんが背負っているのは、世界に類例のない貴重で素晴らしい人類の宝です。20年、30年後には皆さんが中心となって、日本が世界に誇る技を伝えていくこととなります。皆さんの研鑽と活躍を期待しています。



講義項目：建築史演習

内 容：建造物保存修理の概要説明 (1.5時間)

文化財建造物の見学 (2.5時間)

保存修理現場等の見学 (3.0時間)



京都府教育庁指導部
文化財保護課

参事 島田 豊

まずはスライドを用いて、建造物保存修理の制度、種類、進め方、植物性屋根以外の工種の工事内容などについてお話ししました。その上で、植物性屋根の文化財建造物の事例として、清水寺と京都御所の建造物の見学、植物性屋根の保存修理現場として妙心寺庫裏・大徳寺方丈の見学を行いました。研修生にはこのような経験を通して、文化財建造物に関する様々なことに興味を持ち、知見を広げていただければと思います。



今後の講義予定

講義項目：文化財保護法

【日時】 令和7年8月1日(金) 終日

【講師】 office 萬瑠夢 代表 村田 信夫 様

講義項目：労働安全衛生法

【日時】 令和7年8月29日(金) 終日

【講師】 高橋事務所 高橋 弘次 様

講義項目：原材料性質と種類

【日時】 令和7年9月25日(木) 午後

令和7年9月26日(金) 午前

【講師】 岡山市半田山植物園

園長 柴田 映昭 様

2025年 日本国際博覧会（大阪・関西万博）

日 時 ● 令和7年6月8日(日) 12:30～16:30
会 場 ● 日本国際博覧会 ポップアップステージ南
(大阪市此花区夢洲)

令和7年6月3日(火)～8日(日)、「大阪・関西万博」にて様々なジャンルの伝統文化に幅広く出会ってもらう場としてのワークショップが開催されました。当保存会も8日に参加させていただき、ポップアップステージ南を会場に「竹釘打ち体験」の場を提供いたしました。

4時間だけの開催でしたが、多くの方が訪れ、普段触れることのない檜皮葺、竹釘打ちの体験をし、驚きと感動の声を数多くいただきました。普段は気に掛けることのない屋根に関心を持っていただく良い機会になったと思います。

今回「大阪・関西万博」という大きなイベントでこのような機会をいただき、主催・日本経済新聞社(大阪・関西万博メディア協力催事)、並びに共催・伝統文化未来共創Project運営本部の皆様にはこの場をお借りしまして御礼申し上げます。

今後も我々の活動を通して伝統建築工匠の技の普及啓発に努めて参りたいと思います。



2025年大阪・関西万博具現化検討会有識者 木村 麻子 様

会 員 名 簿

公益社団法人 全国社寺等屋根工事技術保存会の会員名簿をご紹介します。届け出内容等に変更がございましたら、事務局 Tel 075-541-7727 か Fax 075-532-4064 までお知らせください。

■法人・個人登録(檜皮葺・柿葺、茅葺、檜皮採取、屋根板製作部門)

No.	正 会 員 名	担当者名	〒	住 所	TEL FAX	HP アドレス メールアドレス
1	明石屋根工事(有)	長崎 貴宣	701-0303	岡山県都窪郡早島町前湯 126-2	086-482-0056 086-483-1212	https://akashiyane.com akashiyanekoji@gmail.com
2	(有) 石塚商店	石塚 直幸	669-3154	兵庫県丹波市山南町梶 525-1	0795-76-1064 0795-76-2119	
3	岩崎社寺工業(株)	岩崎 剛	526-0814	滋賀県長浜市石田町 493-2	0749-62-4743 0749-62-5628	https://yanecho.com/about iwasaki.syaji@gmail.com
4	(株) 上野建設	上野 千代栄	037-0316	青森県北津軽郡中泊町 芦野字堤の袖 148-75	0173-57-3825 0173-57-3227	http://ueno-kk.com/ ueno-kk@sky.plala.or.jp
5	(有)大城戸社寺工業	大城戸 昇	679-0302	兵庫県西脇市黒田庄町 黒田 432	0795-28-4631 0795-28-4682	
6	(有) 大西茅葺	大西 謙之	578-0924	大阪府東大阪市吉田 1丁目 12-20	072-961-6015 072-961-6015	kayabuki2014@sage.ocn.ne.jp
7	(株)大野檜皮工業	大野 浩二	669-3101	兵庫県丹波市山南町上滝 855	0795-78-0352 0795-71-4129	
8	(株)小山社寺工業所	小山 真人	812-0054	福岡市東区馬出 5-36-43	092-641-4847 092-641-2278	oyamashaji@orion.ocn.ne.jp
9	亀井 輝彦	亀井 輝彦	677-0013	兵庫県西脇市日野町 302-1	0795-23-5332 0795-23-5332	https://www.kamei-shaji.com t.kamei.728@gmail.com
10	(株)茅葺屋根保存協会	水野 暁彦	329-0516	栃木県下野市大光寺 1丁目 5 番 11 号	0285-51-0786 0285-52-1586	https://www.kayabuki.co.jp kemuler@kayabuki.co.jp
11	(株)河村社寺工殿社	河村 雅史	520-0113	滋賀県大津市坂本 2-8-33	077-578-0229 077-578-0169	
12	岸田工業(株)	岸田 信行	607-8464	京都市山科区上山 久保町 74-1	075-593-2325 075-581-9498	https://kishida-kogyo.com kishida@waltz.ocn.ne.jp
13	(有) 吉川社寺	吉川 晋二	699-1822	島根県仁多郡奥出雲町 下横田 457-1	0854-52-2026 0854-52-2168	
14	木下 岩男	木下 岩男	526-0814	滋賀県長浜市石田町 588	0749-62-7160 0749-62-7186	
15	楠本 浩史	楠本 浩史	648-0211	和歌山県伊都郡高野町 高野山 73-4	0736-56-2154 0736-56-2158	hiwadabukifuruya@iaa.itkeeper.ne.jp
16	(有) 熊谷産業	熊谷 秋雄	986-0202	宮城県石巻市北上町 橋浦字行人前 190	0225-67-2045 0225-67-2032	www.kayabukiyane.com postmaster@kayabukiyane.com
17	栗山木工(有)	栗山 由己	399-5504	長野県木曽郡大桑村野尻 2271-6	0264-55-2134 0264-55-4034	https://www.kokeraya.com/ info@kokeraya.com
18	(株)越乃かやぶき	大石 保男	946-0216	新潟県魚沼市須原 1000 番 1	025-797-3387 025-797-4032	http://www.koshino-kayabuki.com kayabuki@waltz.ocn.ne.jp
19	(株)児島工務店	児島 真介	700-0827	岡山市北区平和町 4-7	086-232-2223 086-223-9424	https://www.kojima1720.com kojima2223@nifty.com
20	小西 繁俊	小西 繁俊	639-3115	奈良県吉野郡吉野町 吉野山 526-2	0746-32-8510 0746-32-8510	konishikougei@kcn.jp

No.	正 会 員 名	担当者名	〒	住 所	TEL FAX	HP アドレス メールアドレス
21	阪 上 卓	阪 上 卓	648-0037	和歌山県橋本市賢堂 182	0736-32-0791 0736-32-0791	
22	杉 本 惣 一	杉 本 惣 一	616-8041	京都市右京区花園 寺ノ前町 26	075-464-5970 075-464-5970	
23	田 中 社 寺 (株)	田 中 敬 二	500-8483	岐阜市加納東丸町 2-20	058-272-2871 058-276-1329	https://www.tanakashaji.co.jp info@tanakashaji.co.jp
24	谷上社寺工業(株)	川 田 徳 宏	633-0053	奈良県桜井市谷旭町 904-2	0744-42-2790 0744-42-5389	https://www.tanigamisyaji.co.jp
25	伝匠舎(株)石川工務所	石 川 重 人	404-0042	山梨県甲州市塩山上於曾 1990	0553-32-2170 0553-32-2171	https://densho-sha.co.jp ishikawa@densho-sha.co.jp
26	(株)友井社寺	友 井 辰 哉	669-3111	兵庫県丹波市山南町阿草 1302	0795-78-0810 0795-78-0002	https://www.tomoi-shaji.com info@tomoi-syaji.com
27	長 谷 部 直 之	長谷部 直之	602-0036	京都市上京区室町通今出 川上ル西入蒔烏屋町 143	075-451-3563 075-415-1388	
28	(有)ひわだや	佐々木 真	753-0036	山口市円政寺町 5-4	083-922-1651 083-922-1800	http://www.hiwadaya.com hiwadaya@estate.ocn.ne.jp
29	(株)松村工務店	松 村 正 徳	529-1537	滋賀県東近江市市子殿町 1369 番地	0748-55-8008 0748-55-8018	kkmatumura@ex.bw.dream.jp
30	(有)宮川屋根工業	塩 田 隆 司	604-0985	京都市中京区麩屋町通 竹屋町上ル舟屋町 415	075-231-3396 075-212-2040	miya-ne@taupe.plala.or.jp
31	(株)村上社寺工芸社	村 上 貢 章	669-3103	兵庫県丹波市山南町篠場 443-1	0795-78-0158 0795-78-0708	https://murakamisyaji.com murakamisyaji.cic@beach.ocn.ne.jp
32	山 香 正	山 香 正	872-0103	大分県宇佐市北宇佐 1551	0978-37-3393 0978-37-3393	

(2025.4.1 現在)

■名誉会員

No.	名誉会員名	〒	住 所	TEL	FAX
1	岩 崎 長 蔵	526-0814	滋賀県長浜市石田町 493-2	0749-62-4743	0749-62-5628
2	小 山 儀 一 郎	812-0054	福岡市東区馬出 5-36-43	092-641-4847	092-641-2278
3	河 村 直 良	520-0113	滋賀県大津市坂本 2-8-33	077-578-0229	077-578-0169
4	岸 田 重 信	607-8464	京都市山科区上花山久保町 74-1	075-593-2325	075-581-9498
5	熊 谷 貞 好	986-0202	宮城県石巻市北上町橋浦字行人前 190	0225-67-2045	0225-67-2032
6	栗 山 光 博	399-5504	長野県木曽郡大桑村野尻 2271-6	0264-55-2134	0264-55-4034
7	児 島 研 輔	700-0827	岡山市北区平和町 4-7	086-232-2223	086-223-9424
8	長 崎 真 知 夫	701-0303	岡山県都窪郡早島町前湯 126-2	086-482-0056	086-483-1212
9	村 上 英 明	669-3103	兵庫県丹波市山南町篠場 443-1	0795-78-0158	0795-78-0708
10	松 村 正 義	529-1537	滋賀県東近江市市子殿町 1369 番地	0748-55-8008	0748-55-8018

(2025.4.1 現在)

■賛助会員

No.	職別	名 称	〒	住 所	TEL
1	社 寺	関 伽 井 坊	744-0024	山口県下松市末武上398	0833-44-8409
2		天 野 山 金 剛 寺	586-0086	大阪府河内長野市天野町996	0721-52-2046
3		伊 賀 八 幡 宮	444-0075	愛知県岡崎市伊賀町東郷中86	0564-26-2789
4		石 山 寺	520-0861	滋賀県大津市石山寺1-1-1	077-537-0013
5		石 上 神 宮	632-0014	奈良県天理市布留町384	0743-62-0900
6		嚴 島 神 社	739-0588	広島県廿日市市宮島町1-1	0829-44-2020
7		出 雲 大 社	699-0701	島根県出雲市大社町杵築東195	0853-53-3100
8		石 清 水 八 幡 宮	614-8588	京都府八幡市八幡高坊30	075-981-3001
9		宇 佐 神 宮	872-0102	大分県宇佐市南宇佐2859	0978-37-0001
10		永 保 寺	507-0014	岐阜県多治見市虎溪山町1-40	0572-22-0351
11		比 叡 山 延 暦 寺	520-0116	滋賀県大津市坂本本町4220	077-578-0551
12		大 崎 八 幡 宮	980-0871	宮城県仙台市青葉区八幡4-6-1	022-234-3606
13		大 神 神 社	633-8538	奈良県桜井市三輪1422	0744-42-6633
14		大 山 祇 神 社	794-1393	愛媛県今治市大三島町宮浦3327	0897-82-0032
15		意 賀 美 神 社	598-0024	大阪府泉佐野市上之郷45	072-468-0540
16		尾 張 大 國 霊 神 社	492-8137	愛知県稲沢市国府宮1-1-1	0587-23-2121
17		園 城 寺	520-0036	滋賀県大津市園城寺町246	077-522-2238
18		柏 原 八 幡 宮	669-3309	兵庫県丹波市柏原町柏原八幡山1-1	0795-72-0156
19		樫 原 神 宮	634-8550	奈良県橿原市久米町934	0744-22-3271
20		鹿 島 神 宮	314-0031	茨城県鹿嶋市宮中2306-1	0299-82-1209
21		春 日 大 社	630-8212	奈良市春日野町160	0742-22-7788
22		香 取 神 宮	287-0017	千葉県香取市香取1697	0478-57-3211
23		賀 茂 御 祖 神 社	606-0807	京都市左京区下鴨泉川町59番地	075-781-0010
24		賀 茂 別 雷 神 社	603-8047	京都市北区上賀茂本山339	075-781-0011
25		吉 備 津 神 社	701-1341	岡山市北区吉備津931	086-287-4111
26		吉 備 津 彦 神 社	701-1211	岡山市北区一宮1043番地	086-284-0031
27		清 水 寺（京 都）	605-0862	京都市東山区清水1-294	075-551-1234
28		清 水 寺（安 来）	692-0033	島根県安来市清水町528	0854-22-2151
29		金 峯 山 寺	639-3115	奈良県吉野郡吉野町吉野山2498	0746-32-8371
30		杭 全 神 社	547-0046	大阪市平野区平野宮町2-1-67	06-6791-0208
31		熊 野 本 宮 大 社	647-1731	和歌山県田辺市本宮町本宮1110	0735-42-0009
32		氣 多 大 社	925-0003	石川県羽咋市寺家町ク1-1	0767-22-0602

No.	職別	名 称	〒	住 所	TEL
33	社 寺	國 前 寺	732-0048	広島市東区山根町32番1号	082-261-4578
34		国 分 寺 (備 中)	719-1123	岡山県総社市上林1046	0866-92-0037
35		金 剛 輪 寺	529-1202	滋賀県愛知郡愛荘町松尾寺873	0749-37-3211
36		護 国 八 幡 宮	932-0836	富山県小矢部市埴生2992	0766-67-1220
37		志波彦神社 鹽竈神社	985-8510	宮城県塩竈市一森山1-1	022-367-1611
38		真 珠 庵	603-8231	京都市北区紫野大徳寺町52	075-492-4991
39		慈 眼 院	598-0021	大阪府泉佐野市日根野626	072-467-0092
40		十 三 神 社	640-1235	和歌山県海草郡紀美野町野中493	073-495-3755
41		住 吉 神 社	751-0805	山口県下関市一の宮住吉1-11-1	0832-56-2656
42		住 吉 大 社	558-0045	大阪市住吉区住吉2-9-89	06-6672-0753
43		瑞 龍 寺	933-0863	富山県高岡市関本町35	0766-22-0179
44		善 光 寺	380-0851	長野市元善町491	026-234-3591
45		談 山 神 社	633-0032	奈良県桜井市多武峰319	0744-49-0001
46		醍 醐 寺	601-1325	京都市伏見区醍醐東大路町22	075-571-0002
47		大 徳 寺	603-8231	京都市北区紫野大徳寺町53	075-491-0019
48		太 宰 府 天 満 宮	818-0195	福岡県太宰府市宰府4-7-1	092-922-8225
49		竹 林 寺	739-2208	広島県東広島市河内町入野3103	082-437-1171
50		智 満 寺	427-0001	静岡県島田市千葉254	0547-35-6819
51		長 福 寺	701-2602	岡山県美作市真神414	0868-74-2026
52		津 島 神 社	496-0851	愛知県津島市神明町1	0567-26-3216
53		出 羽 三 山 神 社	997-0292	山形県鶴岡市羽黒町手向字手向7	0235-62-2355
54		東 福 寺	605-0981	京都市東山区本町15丁目778	075-561-0087
55		那 谷 寺	923-0336	石川県小松市那谷町ユ122	0761-65-2111
56		那 智 山 青 岸 渡 寺	649-5301	和歌山県東牟婁郡那智勝浦町那智山8	0735-55-0001
57		南 宮 大 社	503-2124	岐阜県不破郡垂井町宮代1734-1	0584-22-1225
58		野 上 八 幡 宮	640-1141	和歌山県海草郡紀美野町小畑625	073-489-2162
59		日 御 碕 神 社	699-0763	島根県出雲市大社町日御碕455	0853-54-5261
60		日 吉 大 社	520-0113	滋賀県大津市坂本5-1-1	077-578-0009
61		廣 八 幡 宮	643-0064	和歌山県有田郡広川町上中野206	0737-62-2371
62		富士山本宮浅間大社	418-0067	静岡県富士宮市宮町1-1	0544-27-2002
63		法 隆 寺	636-0115	奈良県生駒郡斑鳩町法隆寺山内1-1	0745-75-2555
64		法 華 経 寺	272-0813	千葉県市川市中山2-10-1	047-334-3433
65		本 山 寺	708-1536	岡山県久米郡美咲町定宗403	0868-62-1050

No.	職別	名 称	〒	住 所	TEL
66	社 寺	御 上 神 社	520-2323	滋賀県野洲市三上838	077-587-0383
67		御 調 八 幡 宮	722-1513	広島県三原市八幡町宮内13	0848-65-8652
68		三 船 神 社	649-6123	和歌山県紀の川市桃山町神田101	0736-66-1620
69		美 保 神 社	690-1501	島根県松江市美保関町美保関608	0852-73-0506
70		妙 成 寺	925-0002	石川県羽咋市滝谷町ヨ-1	0767-27-1226
71		宗 像 大 社	811-3505	福岡県宗像市田島2331	0940-62-1311
72		八 坂 神 社	563-0043	大阪府池田市神田4-7-1	072-751-3790
73		龍 源 院	603-8231	京都市北区紫野大徳寺町82-1	075-491-7635
74		瑠 璃 光 寺	753-0081	山口市香山町7-1	083-922-2409
75		六 所 神 社	444-0864	愛知県岡崎市明大寺町字耳取44	0564-51-2930
1	そ の 他	神 宮 司 庁 営 繕 部	516-0023	三重県伊勢市宇治館町1	0596-24-1111
2		高 林 家 住 宅	591-8037	大阪府堺市北区百舌鳥赤畑町5-647	072-255-6998

(2025.4.1 現在)

■ 準会員

[五十音順]

No.	氏 名	職 種
1	青 木 照 幸	檜皮葺
2	青 山 亨	檜皮葺・柿葺
3	朝 野 達 也	檜皮葺・柿葺
4	芦 田 健 太	檜皮葺・柿葺
5	蘆 田 祐 明	檜皮葺・柿葺
6	足 立 健 一	檜皮葺・柿葺
7	足 立 大 茂	檜皮葺・柿葺 屋根板製作
8	足 立 諒	檜皮葺・柿葺
9	安 部 悟 司	柿 葺 屋根板製作
10	飯 野 映 稚	檜皮葺・柿葺
11	石 井 潤	檜皮葺・柿葺 屋根板製作
12	石 川 和 重	管 理
13	石 塚 健 一	竹釘製作
14	石 原 直 和	檜皮葺・柿葺
15	市 原 健	檜皮葺・柿葺
16	一 色 律 男	檜皮葺・柿葺
17	伊 藤 貴 弘	檜皮葺・柿葺
18	伊 藤 延 行	檜皮葺・柿葺
19	井 上 裕 貴	檜皮採取
20	居 原 田 浩 樹	檜皮葺・柿葺
21	入 江 匠	檜皮葺・柿葺
22	岩 崎 正	檜皮葺・柿葺 檜皮採取
23	大 石 薫 利	檜皮葺・柿葺
24	大 西 康 純	茅 葺
25	大 野 隼 矢	檜皮葺・柿葺 檜皮採取
26	緒 方 伸 也	檜皮葺
27	岡 野 史 和	檜皮葺・柿葺
28	奥 田 治 郎	檜皮葺・柿葺
29	尾 崎 良 助	檜皮葺・柿葺 檜皮採取
30	加 々 美 栄	茅 葺
31	方 山 和 也	檜皮葺・柿葺
32	勝 部 哲 也	檜皮葺・柿葺 屋根板製作
33	金 沢 翔 太	茅 葺
34	包 國 眞 匠	檜皮葺・柿葺
35	金 子 英 生	檜皮葺・柿葺
36	亀 谷 芳 弘	檜皮葺・柿葺 檜皮採取
37	嘉 本 洋 士	檜皮葺・柿葺 屋根板製作
38	川 瀬 皆 人	檜皮葺・柿葺
39	河 野 修 二 郎	檜皮葺・柿葺 檜皮採取
40	菊 池 保	茅 葺
41	岸 斗 萌	檜皮葺・柿葺
42	岸 田 智 太 郎	檜皮葺・柿葺 檜皮採取
43	岸 田 直 彦	檜皮葺・柿葺 檜皮採取
44	吉 川 圭 一	檜皮葺・柿葺 屋根板製作
45	木 戸 智 裕	屋根板製作
46	木 下 和 也	檜皮葺・柿葺
47	木 下 真 介	檜皮葺・柿葺
48	木 村 健 太	檜皮葺・柿葺
49	清 田 幸 臣	檜皮葺・柿葺
50	栗 山 弘 忠	屋根板製作

No.	氏 名	職 種
51	小 池 一 平	檜皮葺・柿葺
52	古 田 島 進	管 理
53	後 藤 哲 夫	檜皮採取
54	小 西 康 介	檜皮葺・柿葺
55	小 西 繁 信	檜皮葺・柿葺
56	小 林 洋 介	茅 葺
57	小 原 一 樹	檜皮葺・柿葺
58	近 藤 竜 太	檜皮採取
59	寒 河 江 清 人	檜皮葺・柿葺
60	佐 々 木 綾 子	檜皮葺
61	佐 々 木 孝 則	茅 葺
62	佐 藤 偉 仁	茅 葺
63	猿 橋 成 博	茅 葺
64	澤 田 昌 己	檜皮葺・柿葺 屋根板製作
65	品 川 琉 心	檜皮葺・柿葺
66	島 田 伊 織	茅 葺
67	末 岡 治 人	檜皮葺・柿葺
68	須 賀 均	檜皮葺 檜皮採取
69	須 賀 将 志	檜皮葺・柿葺
70	杉 谷 功	檜皮葺・柿葺
71	鈴 木 礼 央	檜皮葺・柿葺 檜皮採取
72	高 木 諒	屋根板製作
73	高 平 勝 也	檜皮葺・柿葺
74	竹 内 蓮 太	檜皮葺・柿葺
75	立 木 覚 士	檜皮葺・柿葺 檜皮採取
76	田 中 智 紗 衣	管 理
77	田 中 智 也	管 理
78	寺 田 美 乃 里	檜皮葺・柿葺
79	富 樫 忠 義	茅 葺
80	戸 梶 憲 幸	檜皮葺・柿葺
81	徳 田 翔 琉	檜皮葺・柿葺
82	友 井 康 介	檜皮葺・柿葺
83	中 島 信	茅 葺
84	永 瀬 慶 祐	檜皮葺・柿葺 屋根板製作
85	中 西 祥 也	檜皮葺・柿葺
86	永 原 光 敬	檜皮葺・柿葺 屋根板製作
87	中 村 裕 司	檜皮葺・柿葺
88	新 津 侑 樹	茅 葺
89	西 裕 之	檜皮葺・柿葺
90	西 堀 大 樹	檜皮葺・柿葺 檜皮採取
91	西 村 信 生	檜皮葺・柿葺
92	野 谷 嘉 邦	檜皮葺・柿葺
93	BAATARSUREN BAT ERDENE	茅 葺
94	橋 本 浩 太 郎	檜皮葺・柿葺 檜皮採取
95	東 友 一	檜皮葺・柿葺
96	樋 口 隆	茅 葺
97	檜 篤 広	檜皮葺・柿葺
98	平 尾 零	檜皮葺・柿葺
99	平 田 将 大	檜皮葺・柿葺
100	平 野 健 太 郎	檜皮葺・柿葺

[五十音順]

No.	氏 名	職 種
101	平 野 裕 也	檜皮葺・柿葺 檜皮採取
102	廣 内 翔	檜皮葺・柿葺
103	深 本 英 昭	檜皮葺・柿葺
104	福 岡 亮 太	檜皮採取
105	福 留 巧 稀	檜皮葺・柿葺 檜皮採取
106	藤 中 竜 也	檜皮葺・柿葺
107	藤 原 優	茅 葺
108	洲 上 大 輔	檜皮葺・柿葺
109	古 川 友 喜	檜皮葺・柿葺
110	細 見 知 憲	檜皮葺・柿葺
111	細 見 裕	檜皮葺・柿葺
112	堀 内 博 樹	檜皮葺・柿葺
113	本 多 亮 貴	檜皮葺・柿葺 檜皮採取
114	毎 熊 徳 満	檜皮葺
115	横 原 孝 宜	檜皮葺・柿葺
116	松 田 哲 也	檜皮葺・柿葺 茅葺
117	松 村 省 弥	檜皮葺・柿葺
118	松 村 純 孝	檜皮葺・柿葺
119	松 村 有 記	檜皮葺・柿葺
120	三 上 昭 信	茅 葺
121	道 繁 康	檜皮葺・柿葺
122	三ツ出 俊平	檜皮葺・柿葺
123	緑 川 幹 雄	檜皮葺・柿葺
124	峰 地 幹 太	檜皮葺・柿葺
125	宮 川 義 史	檜皮葺・柿葺
126	宮 西 寛	檜皮葺
127	向 田 学	檜皮葺・柿葺
128	村 岡 伸 康	檜皮葺 檜皮採取
129	村 上 章 浩	檜皮葺・柿葺
130	森 山 淳 希	檜皮葺・柿葺 檜皮採取
131	八ッ橋 崇市郎	茅 葺
132	矢 野 友 則	檜皮葺・柿葺
133	山 口 成 貴	檜皮葺・柿葺 茅葺
134	山 口 宗 平	檜皮葺・柿葺
135	吉 竹 秀 紀	檜皮採取
136	余 宮 祥 平	茅 葺
137	渡 辺 和 也	茅 葺
138	渡 邊 貴 友	茅 葺
139	渡 部 雄 太	檜皮葺・柿葺

(2025.4.1現在)

謹んでご冥福をお祈りいたします。

訃報

すみ だ りゅう ぞう
隅田 隆蔵 さん

[98 歳]

奈良県出身



隅田 隆蔵様が令和 6 年 12 月 18 日に亡くなりました。

多年にわたり業界の発展に尽くされ、平成 14 年 7 月には文化庁より「茅葺 選定保存技術者」として認定されました。

また当会では、近畿圏を中心に文化財保存修理に従事した数多くの経験を通して、研修生の指導員としてご尽力いただきました。

ご生前のご功績を称え、深く感謝の意を表しますと共に、在りし日の隅田 隆蔵様を偲びつつ、謹んでご冥福をお祈りいたします。

発行所

京都市東山区清水二丁目 205-5

京都市文化財建造物保存技術研修センター内



公益社団法人 全国社寺等屋根工事技術保存会

TEL 075-541-7727 FAX 075-532-4064

<https://shajiyane-japan.org>

古文化 第 134 号

令和 7 年 7 月 31 日発行

あとがき

5 月より文化財屋根葺士養成研修 第 26 期生の研修がスタートしました。慣れない手つきで必死に皮切りに取り組む姿を見ていると、自分がこの世界に入った当時は思い出します。昔は「技術は見て盗め」などと言われ、あまり丁寧に教えてもらえなかった気がします。今の研修生は色々な講師から指導を受けて混乱することもあるかもしれませんが、色々なやり方を知っていることで自分の引き出しが増え、職人としてのスキルアップに繋がっていくと思います。

今年度も当保存会では様々な事業を行ってまいります。講師の方々をはじめ、関係者の皆様にはお世話になりますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

■ ふ る さ と 探 訪 ■

く り や ま ゆ き
栗山 由己さんのふるさと

「伊勢神宮のご神木が伐り出される山」

(長野県木曽郡)

三重県伊勢市に鎮座する伊勢神宮の「式年遷宮」をご存じの方が多いかと思います。神宮にある内宮、外宮ともに、現在社殿が建っている敷地の隣に同じ面積の代地が用意されています。式年遷宮とは20年に一度そこに新たな社殿を建て替え、大御神にお遷りいただく神事です。

建て直しは本殿のみならず14の社殿や鳥居に及び、宇治橋も架け替えます。1500点にのぼる神宝、装束も全て作り変えるという無類の大神事です。飛鳥時代に第1回が行われて以来、戦国時代を除いて1300年間絶えることなく継承され、以後も永遠に続くといえます。

次回遷宮は令和15年(2033)秋に行われますが、今年令和7年はその幕開けとなる年で、これからの8年間に30もの儀式、神事が次々と執り行われます。

数多くの社殿や橋の建設には1万本以上の檜を要し、その用木を伐り出す山を御杣山と呼びます。江戸時代以来、栗山さんのふるさとである長野県

木曽郡の山が御杣山とされてきました。

今年6月3日、雨が降りしきる御杣山に伊勢神宮祭主の黒田清子さんをお迎えして御杣山における最初の儀式「御杣始祭」が執り行われました。内宮・外宮それぞれのご神体を納める御器「御樋代」を奉製するための御料木を伐り出す祭事です。

御樋代の用材として、決められた斜面に並んでそびえる推定樹齢300年、高さ26mの2本の檜が選ばれ

ています。伐採は、伝統的な「三ツ緒伐り」によって行われます。3人の杣人が三方向から斧を入れ、杣頭の「大山の神、左斧横山一本、寝るぞー」の掛け声を合図に伐り倒すのです。

伐採後には地元で御神木が産出された誇りと歓びを込めた「御神木祭」を盛大に行うことが習わしとなっています。6月4日には御用材を台車に乗せて町内を引き回す「御木曳き」が、5日には芸能祭が行われ、御神木は6日朝になって伊勢に向かって出発しました。



古文化

第134号



公益社団法人 全国社寺等屋根工事技術保存会